

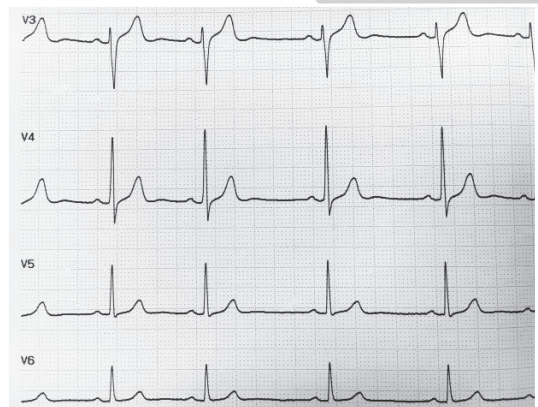
EARLY MOBILIZATION JOURNAL

VOL.05

第1特集

離床最大のリスク “循環”を知る

不整脈や心不全に代表される、循環機能の問題を見落として離床をすすめると、状態悪化や急変を招く。これら循環の問題やリスクを把握するためには、バイタルサインやフィジカルアセスメントが基本となるが、各検査データも併せてみるのが重要である。本特集では、離床に影響の大きいアセスメントポイントとして、心不全患者の管理に欠くことのできない、体水分量 In Out Balance における周術期の輸液と離床の関連についてと、不整脈監視のための心電図における、離床時に知っておくべき不整脈波形の判読法と対応の整理について、解説していただいた。



離床時にチェックすべき不整脈と虚血

—判読法とその対応—

原田 真二

体水分量 In Out Balanceと離床時の評価

—周術期の輸液管理の考え方と離床の関連—

鶴 良太

早期離床